

新年度が始まりました。



殻を破ろう

園長 藤本光世

今年の、牛にひかれて善光寺参りの上山田温泉から善光寺までの 30 km ウォーキングに、中高生全員と職員が参加しました。

牛にひかれて善光寺参りは、小諸からの伝説で、小諸には千曲川の左岸の河岸段丘の絶壁に布引観音さまがおられます。そう、思い出しました。昔、私が中学校の頃、小諸市坂上にお住まいだった柳田恵之介さまが、愛育園の中学校 3 年生を毎年招待してくださり、布引観音に連れて行ってくださいました。そこに布引観音の云われがありました。牛の角に布を盗られた不信心の御婆さんが、牛を追いかけるうちに善光寺まで来てしまい、ご本尊様の御威光を受けて、深い信仰心を抱いたというお話です。その故事にならって、小諸から善光寺まで約 60 km を歩くウォーキングもあるので、距離が長いので、初回の今年は上山田温泉からとなりました。思うと、昔の善光寺参りは、上山田温泉で一泊してお湯につかり、翌日善光寺まで歩いたのでしょう。

副園長からこの計画を聞いて、とても良いことだと思いました。そして、新しい企画に嬉しく、応援したくなりました。

私は、昔、大学に入学したばかりの頃に、鳴子温泉駅から仙台市南小泉までの約 70 km の強歩をしたことがあります。見るからに大変で、先輩に、何でこんなことをするのかと聞きました。すると、お前は、できないと思っているだろう。やる前から、「できない」と決めつけて、殻の中に閉じこもっているんだ。殻を破れ。できないと思っていることをやるんだ。それが心のアドベンチャー。アドベンチャーとは、危険なことをすることではない。心の殻を破ること、それがアドベンチャーだ。こう諭されました。とても新鮮でした。たった、1 年しか変わらない先輩を尊敬しました。そして、鳴子温泉駅を夜にスタートした強歩に参加したのです。実は、私が大学で所属したクラブは、部員が全寮制のアドベンチャークラブでした。

愛育園の子は、ともすると、やる前から「どうせ俺なんかできない。私はできない。」と決めてかかり、自分を卑下して、自から可能性の芽を摘んでいるのです。今回の 30 km 強歩が、子どもたちの「やればできる」という自信につながることを期待したいと思いました。

上山田温泉から善光寺までの強歩は、愛育園のすぐ近くの千曲川の土手を歩きます。犀川から取水した農業用水（上中堰）が千曲川に放流になる水門のところが休憩所でした。土手にトイレが設

置してありました。好天に恵まれて、気持ちよく歩いて、休憩所の着いたという連絡を受けて、すぐに応援に行きました。みんなとっても元気で、楽しく歩いていて、善光寺までも楽勝といった感じでした。愛育園の子が土手に出て、ウォーキングの皆さまを応援しました。愛育園だけではなく、参加された皆様が喜んで、子どもたちの声援に応えてくれました。そこで「篠ノ井あいさつ運動」ののぼり旗を渡して、持って歩いてもらいました。

翌朝、愛育園に行くと、参加された先生が足が痛そうに出勤してきました。足に大きな豆ができて、手すりにすがりながら階段を下りてくる子がいました。きっと、千曲川で休んだ後、善光寺までの道のりがたいへんだったのでしょう。おまいりの後で、身体が痛い人は？と聞くと、ほとんどの子が手を上げました。でも、おまいりの声も顔も清々しそうでした。達成感が表れていました。来年も歩きたい人は？と聞くと、小学生が手を挙げました。挑戦してみたかったのでしょう。そのやる気に嬉しく思いました。

子どもたちは、ウォーキングでお参りした善光寺で、回向柱に触り、お守りを買って来た嬉しそうに話してくれました。

来年も期待したいと思います。

平成 27 年度事業計画（要点）

園長 藤本光世

円福寺愛育園の児童養育の目的 園児に自立の力をつけて卒園させる

円福寺愛育園養育の根底 子どもの心を育てる

心が変われば行動が変わる

行動が変われば習慣が変わる

習慣が変われば人格が変わる

人格が変われば運命が変わる

(育鵬社 初めての道徳教科書 104 p)

円福寺愛育園養育の基礎

生活環境の整美 整理整頓

円福寺愛育園の養育の基本三則

1. 「夢」を意識させ、生活に目的を持たせる。
2. 日課を守らせ、日課の質を上げる。規則正しく手作りの食事を提供する。
3. すべての行事に全力で取り組ませ、最高のレベルを発揮する。

職員の姿勢 「おもいやりの心」（大慈悲心）と道心

職員の勤務の心の基本三則

1. この仕事が心の仕事であることを自覚する。心のレベルを高めよ。
2. 「我」を捨てて、園の方針に心を揃えよ。
3. 正直であれ。謙虚であれ。ごまかすな。嘘をつくな。



仕事の心

すぐやる
必ずやる
できるまでやる

平成 27 年度 副園長方針

副園長 青谷 幸治

今年で副園長になり 4 年目を迎えました。最初の 2 年間は園内の体質を変えることに全力を注いできました。問題行動の指導から反省、それを日課に乗せることを繰り返してきました。家庭や社会のひずみの中で生きてきた子どもたちのさまざまな問題をクリアしてきましたが、おかげさまで昨年あたりから子どもたちが自ら目標を持ち努力する姿勢ができてきました。学力も向上し皆勤する子どもも増えました。何でも一生懸命頑張れば結果が出て、やる気につながるんだという雰囲気が出てきました。今年も昨年同様、夢を持つ。日課に沿った生活と質の向上。行事を充実する。この 3 つの柱をさらに追求し、子どもの自立に向けて取り組んでいきたいと思っています。

また自立支援・進路指導の充実。余暇の充実した生活作り。心を育てる教育を具体的な形で子どもたちに支援していきたいと思っています。

職員体制では、職員研修の導入。引き継ぎの強化。業務の「見える化」。各部屋の整理整頓などに取り組んでいきたいと思っています。

副園長としての立場では、家庭支援の充実。児童相談所との円滑な連携など取り組んでいきます。子どもたちは落ち着いて自分の将来を考え始めています。今が子どもたちに自立の力をつけるチャンスです。今年度も昨年度以上に子どもと向き合い小学生とはたくさん遊び、中高生とは真剣に将来を語り、心を育て自立につなげていきたいと思っています。



平成 27 年度まごころ・そよかぜホーム方針 まごころ・そよかぜホーム長 石崎早織

27 年度もまごころ・そよかぜホーム長をやらせて頂くことになりました。今年でホーム長になり 4 年目になります。私がホーム長になった 4 年前に比べると、子ども達もだいぶ落ち着いて生活が出来るようになってきたと思います。それは今子どもたち自身が、将来の夢や目標をしっかり持ち、それに向かって頑張る事ができるようになってきたからだと思います。そこが今までにはなかった大きな変化だと思います。今子どもたちが落ち着いているからこそ、子どもたちの夢に近づくには何をしてあげたらいいのか、どんな事を教えていけばいいのかを考え、関わりを持って行きたいと思っています。その為には関わる職員が常に前向きな姿勢で子どもたちと関わらなければいけません。それが昨年度は出来ませんでした。職員の気持ちが一つに

なれず、同じ方向を向いて養育できなく、子ども達に迷惑をかけてしまいました。なので、今年度は同じ事が起こらないようにしていきたいと思っています。その為には同じ方向を向いて養育できるよう、常にホーム職員との会話を大切にし、お互いの気持ちや考えを理解しながら、協力していきたいですし、私自身気づいた事があればそのままにせず、一つ一つ先生方に伝えていきたいと思っています。また子どもとの関わり方や業務に対してももっと丁寧な教えていくことに力を入れていきたいと思っています。子どもたちが良くなってきているからこそ、もっと職員の連携を強くし、子ども達を伸ばしていきたいと思っています。



また何事にも一生懸命取り組む姿が増えてきている反面、なかには失敗する事に対し、とても抵抗を感じている児童もいます。その為やる前から出来ないと思うとやらなかったり、少し指摘されるだけで大泣きし、素直に受け入れられない姿もあります。たくさんの失敗があるからこそ、人は成長していく。この事を常に子ども達に教えながら、たくさん挑戦できる場所を考えていきたいと思っています。

いくつか目標をあげましたが、一番は職員の連携に今年度は力を入れていきたいと思っています。また今後も副園長や青空ホーム長とも連携もしっかり取り、他ホームにもすぐに入れるよう情報を共有していきたいと思っています。

一年間よろしくお願いします。

あおぞらホーム長方針

昨年度に引き続き、あおぞらホームのホーム長を務めさせていただけることになりました。平成 27 年度は、昨年度の反省を踏まえて、「つながりのある一年」をホームの方針としていきたいと思っています。

昨年度、運動会や愛育園祭などの行事は、児童が率先して準備や練習を行ってから本番を迎える姿や、やり切って自信をつけた子どもたくさん見られ、大成功だったと思います。行事の準備や練習をしている期間の子ども達の生活はイキイキとしていて、頑張っている姿が見られました。

ですが、行事の「その後」という所を振り返ってみると、行事の成功や自信が生活に反映されていなかったと感じています。



あおぞらホーム長 富沢正樹

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

子供の記憶や感覚はすぐに薄れていってしまいます。せっかく良い行事をしても、その後の生活や次の行事につなげていかなければ、すぐに振り出しに戻ってしまいます。

行事だけではありません。問題行動や児童への対応も同じです。その時その時だけに力を入れて話をしても、次につなげて継続していかなければなにも変わりません。

一つ一つの行事や児童対応を、その次の行事や児童対応につなげていくことを強く意識し、一年間ホームを運営していきたいと思えます。

「つながりのある一年」にする為に、いくつか具体的に目標を定めました。

・職員と児童と一緒に取り組む。そして、真っ直ぐ取り組めるようになる。

昨年はマラソン、ダンス、歌など、沢山の練習をしてきましたが、職員が児童と一緒に取り組むことでいい結果が出たと思えます。

職員でも苦手な事や、中には子供の方が上回っている事もありますが、それを隠さず、子どもと同じ行動(練習)をしていくと、児童も「頑張ろう」という気持ちになりますし、苦手な事でも努力したら、できる様になってくるという姿を実際に目の前で見せる事はとても大きな影響を与えたいと思えます

あおぞらホームの子たちは、できない事があると、それを受け入れられなかったり、認められない子がたくさんいます。そして、それを隠すために、言い訳したり、他人に対して攻撃的な言葉で罵ったり。正攻法のやり方をしないで、楽な方法まがいな事を自慢げに語ってみたい。

そうではなく、苦手でも、時間がかかっても、それを受け入れて、言葉や別の方法に逃げないで真っ直ぐ取り組める子を増やしていきます。そして職員も、ただただ上から物を言うだけでなく、真っ直ぐなやり方を一緒に取り組む中で伝えていきます。

・行事などの告知・周知をたくさん増やす。

一つ行事が終わっても、熱が冷めてしまう前に、次の目標や楽しみを持たせられるようにする為、プリントやカレンダーを使って、早く予定を知らせていきます。そうすることで行事をぶつ切りにさせないようにします。行事だけでなく、テストや実習の予定も前もって知らせていくことで、意識が途切れない様にしていきます。

・生活面の支援、進路について計画的に進める。

生活面について、気になる所があっても、その時だけの声掛けや対応で終わってしまっている為、つながっていきません。ほとんどの小学生が年間通して、通知表の忘れ物・整理整頓の欄が△になっちゃったことは、職員の手入れ不足に他なりません。今年度は通知表の忘れ物欄の結果にこだわって手入れを行っていきます。



(平成 27 年 5 月 10 日発行 月刊「円福」466 号付録 昭和 52 年 5 月 25 日第三種郵便物認可)

進路についても同様です。高3が3名、中3が1名、小6が1名と進路の岐路に立たされている子が5名おります。

5名が安心して前向きに向かっていけるように、見通しを立てること、準備をそろえることを早く行っていき、児童が不安になるような、行き当たりばったりの対応をしないようにしていきます。

生活面も進路も年間の予定と目標を計画し、継続性を持って支援していきます。

今年度は、ホーム職員が、児童のやる事全てが将来の糧、自立への道とつながっていくという気持ちを持って一年間過ごしていきたいと思えます。

庶務の新年度方針

傳田義晴

去る3月31日の役員会において「平成26年度補正予算案」に続き藤本理事長より「平成27年度事業計画案」の説明があり、また「同予算書案」については傳田が提案説明し、協議の結果原案通り承認されました。予算案では児童減の影響で平成23年度は暫定定員47名(定員50名)となり措置費(国・県からの支払われる運営費)が大きく減らされていましたが、その後は徐々に児童数も増加し平成26年度は定員50名まで改善しました。しかし昨年度再び児童数が減少(前年比平均△4.8名)結果、平成27年度は暫定定員49名となる見込みです。

「庶務の新年度方針」としては

1. 愛育園の運営費である措置費の効果的運用

今年度の新規補助金「入所児生活支援事業」の受給に向けた計画、実施、報告に庶務として関わっていく。

2. 経費の有効支出

ここ数年園内保育の充実や園全体行事、ホーム行事の充実、児童の生活環境の改善に努め、関わる支出も増加傾向にありますが、無駄な経費は削減しつつも真に児童のためになる費用には措置費を使用していく。

3. 事務の効率化の更なる推進

今年度は庶務職員が2名の体制となりました、業務の分担を含め、効率的な事務を推進していく。

4. 平成26年度新会計基準への移行後の会計実務の定着

昨年4月の新会計システムの導入以降、順次不具合点の修正を行ってまいりましたが今年度はこの会計処理の定着に努めていく。

以上新年度方針とし実行していきたいと思えます。

調理方針

調理主任 伊藤 慈子

新年度がスタートし、はやくも1ヶ月が経ちました。調理室は、今年度5名で活動していきます。4月より新人の先生2名を迎え、また、新人の先生以外の2名も入社した時期が違い、1年を経過していないので、4名が新人です。そして、そのうち1名は男性です。ですから、新年度が始まる

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

前は、不安な面がありましたが、今日まで5名が一生懸命がんばってきて、その不安は徐々に消え、希望に変わり始めています。この5名でなら、今年度、子どもたちのために、安全でおいしい食事を決まった時間に提供できると思います。

それを実現するために、改めて、お互いに声を掛け合い、協力し、助け合い、思いやり、良い仕事ができるように、みんなで努力し、よいチームワークを作っていきたいと思っています。

小学校に入学しました。 **竹田悠希**

入学式初日、ドキドキしながら職員に手を引かれて教室に入ったTちゃん。数え切れない児童の多さに圧倒していましたが、入学式から少しずつクラスでお友達を作ることができました。しかし、その児童の多さに圧倒されてしまうことで、朝教室に入ることに緊張してしまい立ち止まって泣いてしまったり、職員に同行してもらって教室に入ったりという日もありましたが、「緊張するのはみんな一緒だから大丈夫だよ」と声を掛け見送っています。

また帰ってくるなり、おやつを食べてから平仮名の宿題に一生懸命励んでいます。学校の様子を沢山聞きながら、楽しい学校生活を送ってほしいなと思っています。

まずは一学期頑張ろうね、Tちゃん。

高校に入学して

高校生活で頑張りたいことは部活と勉強です。部活は卓球部に入部しました。卓球部では力をつけて強くなり、施設対抗の球技大会で活躍したいと思っています。そして今年も県大会までいけるように頑張りたいです。

勉強は高校生になったら難しくなっていくので授業をしっかり聞きノート等もしっかり取っていき頑張りたいです。それでテストで良い点数をとれるよう取り組んでいきたいと思っています。また規則正しい学校生活を送っていききたいです。(Y・N)

高校生活で1番頑張りたい事は部活動です。施設運動会でよい結果を残すため、弱い自分を越えるために、陸上部に入りました。短距離や長距離といった走る種目で、頑張っていきたいと思っています。

そしてもうひとつ頑張りたい事は友達作りです。中学時代はクラス内で友人を作ることは出来ましたが、クラスを越えての友人作りはできませんでした。高校では、クラスを越えて友人作りをし、部活仲間とも仲良く過ごして行きたいと思っています。(S・H)

小学校に入学して

おともだちにやさしくしたいです。べんきょうをがんばります。(M・N)

小学生卓球監督になって、Yさん中学入学おめでとう **保育士 上原美恵子**

新学期が始まって一ヶ月いよいよ好例の球技大会に向けての発足式が行われました。

今年はどの職員が自分たちのチームに入ってくれるのかと皆ワクワクして発表の瞬間を待っていました。それぞれのチームを担当する職員の名前が呼ばれる度に子供達の歓声が上がり大会に向け

(平成27年5月10日発行 月刊「円福」466号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

ての一人一人の思いの深さが伝わってきました。今年度も昨年度に引き続き小学生卓球監督を努めさせていただくことになり、私自身も身が引き締まる思いでした。今年度は小学生女子9名ととてもにぎやかです。チーム作りの話し合いでは新キャプテンを中心に積極的に意見が出ました。今年度の目標はやはり県大会優勝！と子供たちから声が上がり頼もしさを感じました。又練習に関しても、ふざけたり泣いたり拗ねたりして皆に迷惑を掛けないようにすると言った意見も出ました。代表選手の枠は5名ですので皆選ばれたいとやる気満々の様子でした。体調管理に気をつけながら有意義な練習になるよう心がけていきたいと思っています。

4月6日私が担当しているYさんが中学入学式を迎えました。満開の桜の中期待と不安でいっぱいになっている様子が伺え、付き添った私も緊張感でいっぱいになってしまいました。入学式はとても整然としていて良いスタートが切れたな一と感じました。園では中学生になると1階から2階へと居住スペースが変わり部屋も一人か二人部屋となり、お洗濯も自分でするようになります。それだけ保育士から少し離れると言うこともありYさん大丈夫かな一と心配されましたが、いざ中学生生活が始まってみるとこちらの心配が嘘のようにスムーズに生活出来ていてホット胸をなでおろしています。中学生は将来に向けて大きく成長して行く時期ですので大切に見守って行きたいと思っています。

球技大会 中高卓球の監督になって **まごころ・そよかぜホーム長 石崎 早織**


今年度中高卓球の監督をやらせて頂くことになりました。監督をお願いされた時から、どんなチームにしようか、そんな事を考えとてもワクワクしていました。25日には球技大会の発足式が行われ、いよいよ球技大会に向けてスタートしました。私が子ども達に伝えたのは、①相手を思いやるチームを創っていく事、②日課に沿った生活をしっかり送ることです。どのスポーツでもそうですが、卓球も決して一人では練習は出来ません。相手がいるから自分が練習できる。まずはそこをしっかりと感謝しながら練習に取り組んでいく事。また失敗したら周りの人が自然と温かい言葉をかけながらフォローし合えるチームを作りたいです。きっとみんなが周りにも気遣う事が出来るようになれば、トラブルは今までよりも減ると思います。まずはみんなが練習に取り組みやすい雰囲気、チーム全体で創っていききたいと思っています。二つ目に日課です。私はよく自分の担当児童にも言っている事ですが、本番だけ頑張ってもいい結果は出ない。毎日の日課をしっかりとやる事が、大事な時に力を発揮することができるかと話をしています。これは球技大会にも言えることです。まず日課に沿った生活が出来ていない人は、練習も真剣に取り組めません。そうなれば本番試合に出ても当然良い結果を残す事は出来ないと思います。なので、一勝でも勝つためにはまずはみんながしっかりと生活を送り、練習に取り組むことだと思っています。この話を子ども達に話すとみんな真剣に聞いてくれ、とても嬉しく感じました。私自身監督をやるのが久しぶりで緊張もしますが、子ども達と練習と一緒に取り組み7月の球技大会に向け、頑張りたいと思っています。よろしくお願ひします。



園内保育だより



今年の春は雨が多く、「ほろほろ陽気」という日が少なかったのですが、4月下旬より良いお天気が続くようになりました。好天の日には積極的に散歩に行ったり、畑に行ったりしました。その帰り道には決まって「お土産、持ち帰りたーい!」と、園で待つ先生に野花を摘んで持ち帰り、お土産を渡すのが恒例となつている子どもたち。ツクシを持ち帰ったある日、園長先生がそのツクシの頭をポン!! とたたくと、胞子が飛び出しました。その様子を目を輝かせて見入る子どもたち(と保育者)。ツクシの月包子を顕微鏡を見た形状を、資料と実演で教えていたばきました。

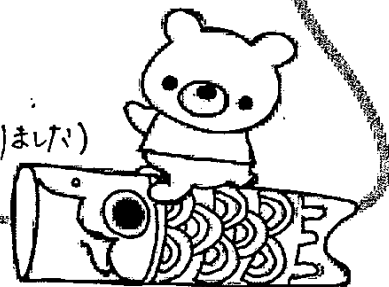
また、「あら、今日のおやつにしようかしら」とおしゃる先生に「えっ!? 食べちゃダメ!?」という子も。  楽しいひとコマをばい♡

< 5月のわらい >

- ・ 戸外で身体を動かして、伸び伸びと遊ぶ。
- ・ 園内保育のルールを守るとともに、基本的な生活習慣を身につける。

< 5月の行事予定 >

- ・ お花まつり
- ・ 5月生まれのお誕生会
- ・ 春の遠足(4月に予定されていたものが延期になりました)



自然とともに・・・

良い季節になり、戸外に出ることが多くなりました。ダンゴムシやアリなどたくさんつかまったり、児童棟の軒下に巣を作つて子育て中の鳥の様子を見たり、毎日のお天気や雲の様子に気がついたり...。子どもたちは、日々の保育の中で自然とふれあいたがら多くのことを発見し、学んでいます。

そこで!! 今年度は畑での活動をさらに増やし、作物のお世話をより一層頑張りたいと思つています。4月には、青木先生ご指導のもと、ジャガイモ植えを行いました。種イモを植えた後、「大きくなあれ! おいしくなあれ!」とつぶやきながら、その土をかきつける姿がとってもかわいらしく、(ほほえましく、たごす♡) そのジャガイモが芽を出し、葉っぱが出てきたのでお世話をしながら観察し、観察画を定期的に描いています。ジャガイモの成長も楽しみますね♪



当番活動

張り切っています!!



- ◎ 新年度が始まる同時に「今日のお当番さんは誰?」「お当番早くせりたーい」という声が多く聞かれました。子どもたちはやる気満々です。その気持ちを受け、まずは「当番カード」を作ることになりました。台紙に顔写真を貼り、洋服の形に切った白い紙にちぎった折り紙を貼ると、おしゃる服を着た子どもたちの完成です! 出来上がった当番カードを見合うと、ちょっと照れながらも満足気な表情を見せ、喜んでいました。
- ◎ 昨年度までは2人でやっていたお当番の仕事(挨拶の号令など)を今年度は1人でやっています。前に出て「気を付け」をして立っているだけで精一杯だった未満児も年少になり、1人で堂々と言えるようになりました。どの子もお当番を任されることに喜びを感じ、一生懸命取り組んでいます。「人前で堂々と話す」「任されたことをしっかりやる」など当番活動を通して、子どもたちの成長が期待できそうです。がんばろうね - !!



こいのぼり 制作中!

～やねより たかい こいのぼり～♪

毎朝、子どもたちの元気な歌声が響いています。その歌声に誘われるように、愛育園の大きなこいのぼりたちも元気に泳いでいます。

子どもたちは「こいのぼりってどんな模様?」と真近で見たり、触ったり、興味津々です。

そこで、自分たちのこいのぼりを作ろう!! と取り組み始めました。どんなこいのぼりになるかな? 次回 お楽しみに



球技大会 野球チーム 監督になって

保育士 酒井悠紀

本年度も野球チーム監督を務めさせて頂く事になりました。毎年やってくるこの熱い時期が私はとても好きです。どんなチームにしようか、どんな練習をしようか、キャプテンや副キャプテンは誰にしようか、そんなことを考えながら、当園では早くも球技大会の発足式です。

まずチームで大事な目標（スローガン）をみんなで決めることにしました。子ども達から様々な意見が出てくる中、決まったのは「チーム一丸 するぞ限界突破」というものでした。この目標にはいろいろな意味が込められています。

- ・チーム一丸となって優勝を目指す。
- ・何をするにもレベルアップを目指す向上心。
- ・自分自身もチームとしても限界を作らず、挑戦していくこと。

チームとしてどうして行くかをよく考えた結果、出た意見でした。思い出せば昨年、円福寺愛育園や野球チームは初戦敗退を喫しました。練習も積み、投手も徐々に自信をつけ、爆発が期待される打者、とチームの雰囲気は決して悪くはありませんでした。しかし、結果は初戦敗退。負けることには必ず原因や理由があります。昨年のチームは、チーム一丸になりきれていなかったのです。また練習においても、個人個人が限界を作り、挑戦的ではありませんでした。今年、まずチームの輪を大切に、チーム作りを行って行きたいと思えます。

そして大切な事は、この球技大会に向けた取り組みをいかに日常生活向上のために利用していくかと言うことです。野球をするものであれば当然、あいさつがしっかり出来て、大きな声で元気よく、道具などを大切に使うはずですが、これが基本です。そして、その基本は必ず園での生活に役立ちます。当たり前なことを当たり前できるように、ここもチーム一丸で頑張りたいと思えます。

4月30日からは走り込みが開始されます。今年も例年通り、気合の入った走り込みから、チームのムードを高めていきたいと思えます。どうぞ、よろしく願いいたします。

まごころ・そよかぜホームだより

保育士 武井萌

不安定だった天気もようやく落ち着き、子ども達も嬉しそうに外遊びに出かけ、活発な姿が沢山見られるようになりました。新学期が始まって1か月が経とうとしています。小学校に入学した2名の女の子達も、少しずつ小学校生活に慣れ、帰ってくると「こんなことしたよ!」「お友達と遊んだよ!」と楽しそうに話して聞かせてくれます。中学に入学した子は早速部活動見学に足を運び、「陸上部に入る!」と決めたようで、とても生き生きとした表情をしています。高校に入学したNさんは卓球部に入り、毎日練習に励んでいます。それぞれの子供達も、夢や目標に向かって日々頑張っているな、努力しているなと感じます。この良い姿を今年度継続できるよう、職員もそういった姿勢を子ども達に見せていくことを意識していきたいと思えます。

あおぞらホームだより

あおぞらホーム 山口 亮

あおぞらホームの子が進級して早くも1か月が経ちました。先日、平成27年に入って一発目のホーム食を行いました。今回は昨年度も行った「うどん」を作りました。コシのある粘り強い力を身につけてほしいという願いを込めてのホーム食でした。昨年度は粉からは作らず既にできていた生地からだったので、今年は粉から作り、麺につけるお汁も自分達で手作りしました。生地が出来上がると頑丈な袋に入れて踏み始めましたが・・・これがまた労力が必要でだんだん疲れてはきますが、私含めて精一杯の体重で踏んだうどんの生地はとてもコシが強く歯ごたえ抜群の物となりました。今年度のあおぞらホームもこのうどんの様に粘り強く、どんな行事でも諦めないで取り組んでいってほしいと思っています。

調理室だより

調理員 小林莉菜

春はたくさんのお山菜が芽を出し、山で採れる季節です。

先日、今が旬のタケノコをいただきました。30cm以上もある、とても立派な筍で、持ってみてもずっしりと重く、料理に使わせてもらうことができるととてもありがたいと思えました。五目御飯と筍汁に使わせて頂きました。普段食べている筍とは違い、柔らかくてとても食べやすく美味しくいただくことができました。子どもたちも美味しいと言って食べてくれてとても良かったです。

旬な食べ物を味わうというのは、一年を通してほんの少しの期間しかありません。今回子どもたちに味わってもらえたことは、食を通して季節を感じてもらえるととても良い機会になったと思えます。ありがとうございました。



レッサーパンダを背景にして。



園内保育始業式